



アスパラガス 十分な土づくりをして植え付ける



グリーンアスパラは、疲労回復を早めるアスパラギン酸と高血圧を予防するルチンを多く含みます。早春に苗を植え付けて翌年から収穫できます。

【栽培時期】

永年性なので、一度植え付けると7～8年同じ畑で栽培できます。一般には、2～3月に園芸店で苗を求めます(図1)。1年目は収穫しないで、球根を十分養成して翌年から収穫を始めます。種から育てるときは3～4月にまき、1年間株を育成して早春に苗を植え付けて翌年から収穫します。

【品種】

太い若茎がたくさん取れる「シャ

ワー」(タキイ種苗)、「ウエルカム」(サカタのタネ)など。

【植え付け】

畑に1㎡当たり苦土石灰200gをまき、よく耕しておきます。次に、畝幅120cm、深さ30cm、幅30cm程度の溝を掘り、この溝に1㎡当たり堆肥2kgと化学肥料(N:P:K=10:10:10)100gを与えます。苗は株間40cmに植え付けます(図2・3・4)。

【管理】

茎葉が繁茂すると倒れやすくなるため、株の両側にひもを張ります。追肥は、生育の盛んな6月と芽の動く前の2～3月に、畝の肩にそれぞれ畝1㎡当たり化学肥料50gを与えます。

【病害虫の防除】

梅雨期と秋雨期の茎枯病が大敵で、茎と枝に紡錘形の病斑を生じ、進行すると茎が枯れこんでしまいます。「Zボルドー」や「ダコニール1000」などで防除します。また、地上部が枯れる晩秋に、茎を地際から刈り取り、焼却して予防します。

【収穫】

茎が伸びてきたら、先端が開く前に草丈30cm程度で地際から切り取ります。早春の1カ月間初物を楽しみ、その後一時収穫を中断します。1株

に数本の茎を育てて葉が茂るようになったら、夏から秋まで次々に出る若茎を順次収穫します。

【種から育てる場合】

3～4月に土作りを済ませた育苗床に20cm間隔に溝をつけて、株間15cm、1カ所2～3粒の種をまきます。草丈10cm程度のときに間引きし、1本立てにします。苗の養成中に2～3回化学肥料を1㎡当たり50g程度を追肥します。数が少ない場合は、ポットにまいて苗を育成しても良いでしょう。

図1 購入苗

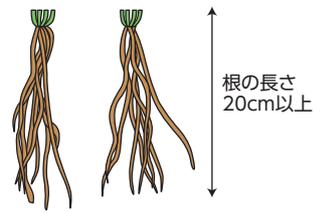


図2 溝切り

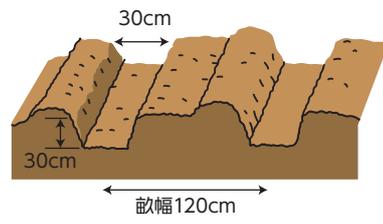
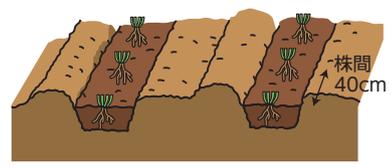


図3 施肥



図4 植え付け



彩・菜・栽

2021年
2月